

東京リレー2009フェスティバル

盛大に開催

東京リレー2009フェスティバルは、好天に恵まれた11月1日に都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場で盛大に開催された。

同大会は、一般市民の間にも長距離偏重が進んでいる現状を打開するため、試合や運動会でも花形種目である4×100mリレーにフォーカスして幼稚園児から大人までのあらゆる層の人が楽しめる陸上競技大会を目指して企画された。今後、一般種目のアスリートの集う競技会に育てるとともに、競技人口の増加を図り、陸上界の活性化に寄与すること目指している。種目は、一般(男子・女子)、中学(男子・女子)、小学生(男子・女子)、子供たちも楽しめる「ひよこリレー」や「縄跳びリレー」さらには本大会のメインイベントである男女混合4×100mリレーなどが行われ、大いに盛り上がった。



一般男子の4×100mリレーは、New ModoAC Aチームが42秒87で優勝。3走の福壽孝太郎からアンカーの山崎雅裕へのバトンパス



男女混合リレーには、大会実行委員会の事務局を務めるM&Kの陸上部もエントリー。遠藤幸一郎・須田紗織・堀江真由・梶川洋平のオーダーで44秒19をマークして圧勝した。2走の須田選手は、前日の10月31日の第5回人見絹江杯女子60m予選で7秒52の日本記録をマークしている



各部門の3位までのチームが表彰された。女子中学の部の4×100mリレーは成田西中学が50秒91で優勝



大会終了後には、M&K陸上部によるクリニックも行われ、大勢のアスリートが参加



開会宣言をする同大会実行委員長の幹渉氏。隣は総務委員長の川島康男氏



100mにチャレンジしたい人のために記録会も行われた



400mを8人の幼児が50mずつバトンを繋ぐ「ひよこリレー」には、大きな声援が送られた



「縄跳びリレー」では、久々のチャレンジとあって多くの参加者が苦戦



会場内でのブースでは、スポーツ栄養に関する相談やスポーツサプリメントに関するセミナーも行われた